

二〇〇二年度に活躍した

課外活動団体一覽

選手権大会 出場

藤ヶ崎 誠 (第二経済二年) 総合10位

【アメリカンフットボール部】

第7回GLOBAL JR. CHAMPIONSHIP UNDER 19代表
選手として選抜

齊藤 顕吉 (経済一年)

【合気道部】

第40回全日本合気道演武大会 出場

安積 圭一 (自治三年)

渡辺 哲也 (法律二年)

第42回全国学生合気道演武大会 出場

【アイスホッケー部】ースピード部門

第25回全日本学生ショートトラックスピードスケート選手

権大会 総合12位

藤ヶ崎 誠 (第二経済二年)

文屋 芳規 (経済一年)

第26回全日本選抜ショートトラックスピードスケート選手

権大会 出場

藤ヶ崎 誠 (第二経済二年) 総合22位

第3回全日本学生ショートトラックスピードスケート個人

【應援指導部】

全日本選抜チアリーディング選手権大会 出場

JAPAN CUP 2002 チアリーディング日本選手権大会

出場

第14回全日本チアリーディング選手権大会 出場

〈コメント〉

私たち應援指導部チアリーディング部は、今年、春、夏、冬の三回の全国大会に出場しました。

今年はいくくの新入部員を迎え、六月に行われた関東地区予選大会から、共に演技してきました。この関東大会ではあと一・五点で全国大会出場という悔しい結果ではありましたが、一年生にとって初めての大会で、自分たちの満足のいく良い演技ができたと思います。

年々、チアリーディング競技のレベルも上がり、大会で勝

ち進む事は簡単なことではありません。今年は大会で結果が出せず、悔しい思いをしました。しかし、仲間との信頼関係を再確認し、一年生そしてチームのレベルも上がり、チームの良い土台作りができました。最高の笑顔とチームワークで観客を魅了し、今まで培ってきたものを次こそは結果につなげられるよう、悔いのない演技をしていきたいと思えます。

【空手道部】

第46回全日本学生空手道選手権大会 出場

森田 源太（経済四年）

関川 玲加（中国語一年）

第38回和道会全国空手道競技大会

一般個人戦 組手の部 関川 玲加（中国語一年） 準優勝

形の部 ベスト8

第46回全日本大学空手道選手権大会

団体戦 女子組手の部 出場

【弓道部】

第50回全日本学生弓道選手権大会 男女共に団体戦出場

片岡 慎司（経工二年） 個人戦決勝進出

〈コメント〉

我が弓道部は今年も全日本学生弓道選手権大会に出場する

ことができました。

毎年に夏に行われるこの大会は、ちょうど部がまとまり始めたところで、部の成果を試すには絶好の機会であり、かつ一年を通して一番大きい大会でもあるので、自然と士気も高まります。全国の上位校とも相まみえ、みているだけで刺激があり、自然と練習意欲も高まります。この大会で恥ずかしくない結果を出すために、日々練習を重ねています。

ここ数年、我が弓道部は予戦敗退と恥ずかしい結果が続けてしまっているので、この低迷状態を打破し、今年こそ決勝進出、上位入賞、そして優勝を目指しています。

道場もなく、部員も少ないなかで、この目標を達成するのは難しいことではありますが、密度の濃い練習と目標への意識で補っています。

目指せ「全日本優勝」

【硬式野球部】

第1回世界大学野球選手権大会

日本代表選手として選抜

日本第三位 銅メダル獲得

第15回IBAFインターコンチネンタルカップ

日本代表選手として選抜

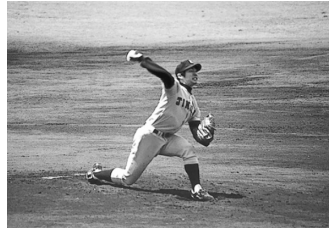
オリックスブルーウェーブ入団

加藤 大輔 (第二法四年)

(コメント)

私達硬式野球部は大学から車で約三十分のところにある中山グラウンドで活動しています。横浜キャンプではないのでなかなか練習を見てもらう機会がないのが残念ですが、部員六十二名が元気にそして真剣に野球に励んでいます。六十二名からメンバー入りするのは大変ですが選手間でも競い合っている、日頃から勝ちを意識した練習を心掛けています。そんな中、投手の加藤がオリックスに入団したのはとても嬉しい出来事でした。部員一同、加藤のプロでの活躍を期待し、応援しています。また自分も次に続こうとやる気を新たにしています。

今年新しくコーチを迎え、グラウンドの土も入れ替え、全ての面で野球に集中できる環境が整いました。四月からは待ちに待ったリーグ戦が始まります。日頃の練習の成果を余すところなく発揮し、もちろん優勝を果たし、神宮に乗り込みます!! 一戦一戦大切に戦います。ぜひ応援に来てくださ
い!!



【女子サッカー部】

第10回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル 準優勝

U 19日本女子代表「F I F A U 19女子選手権大会」 代表
選手として選抜

百武 江梨 (国際経営一年)
関東大学女子サッカーリーグ 一部昇格

(コメント)

私達は創部2年目の部活で一・二年生を中心に活動しています。昨年は大学リーグ二部で準優勝し入れ替え戦に出ましたが破れました。今年度は、人数も増え二部で優勝しました。そして十一月二十三日に行われた入れ替え戦では学芸大学に勝ち、一部昇格が決定しました。

又、筑波フェスティバルという大学やクラブチーム三十チーム出場の大会で、準優勝という結果を残すことができました。そして、秋に行なわれた全日本女子サッカー選手権大会関東予選では、優勝チームに負けたもののベスト8という成績を残すことができました。

来年度は大学リーグも一部に昇格し、今までとは違ったプレッシャーの中での試合が多くなると思います。チーム一丸となって一つでも多くの試合に勝つことができるよう頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。

【山岳部】

南米大陸最高峰アコンカグア 登頂成功

宮守 健太（生物二年）

西島 亜希子（英語英文二年）

【スキー部】

第76回全日本学生スキー選手権大会

男子四部 SL 河口 紘太郎（国際経営三年） 第四位

吉田 辰徳（自治行政三年） 出場

男子四部 SG 河口 紘太郎（国際経営三年） 出場

吉田 辰徳（自治行政三年） 出場

【柔道部】

第11回全日本女子柔道優勝大会 女子団体の部（三人制）
出場

（コメント）

第18回全日本学生アルペンチャンピオンスキー大会
男子回転 河口 紘太郎（国際経営三年） 第八位

【少林寺拳法部】

全日本学生少林寺拳法大会 出場

【水泳部】

第78回日本学生選手権水泳競技大会 出場

100M バタフライ 鈴木 伸也（経済三年）

100M 背泳ぎ 田中 宏明（経済二年）

100M 平泳ぎ 西尾 秀樹（国際経営二年）

100M 平泳ぎ 佐藤 高行（国際経営一年）

200M 自由形 春原 一仁（経済二年）

第78回日本選手権水泳競技大会 出場

50M 平泳ぎ

100M 平泳ぎ 西尾 秀樹（国際経営二年）

我々体育会スキー部は、全日本学生アルペンチャンピオン大会で八位入賞という成績を残した。これは創部以来もつともかがやかしい成績である。スキー部は年間の主な大会が三つある。全日本学生アルペンチャンピオン大会、全日本学生スキー選手権大会（インカレ）、全日本学生アルペン雪石大会である。インカレでは、現在四部としてがんばっている。部員一同三部昇格をめざしているわけであるが、残念ながら昇格とはいかなかった。しかし、国際経営学科三年の河口紘太郎がスラロームにおいて四位入賞をはたした。スキー競技は、個人競技ではあるが部の昇格にはいくら個人の成績が良くても団体で評価される為、昇格が難しかった。その証として全日本学生アルペンチャンピオン大会や全日本学生雪石大会ではアルペン種目として一部から四部の学生が混合してい

る。その大会で上位は一部強豪の選手が揃うなかで国際経営学科三年河口絃太郎は八位に入った。このように今、スキー部は創部以来初めてめざましい結果を今年残したのである。来年もがんばりたいと考えている。

主な成績

全日本学生アルペンチャンピオン大会

S L 八位 国際経営三年 河口 絃太郎

G S 十位 国際経営三年 河口 絃太郎

全日本学生(インカレ) S L 四位入賞 国際経営三年

河口 絃太郎

S L 二十六位 自治行政三年 吉田 辰徳

全日本学生霰石大会 S L 十三位 国際経営三年 河

口 絃太郎

G S 十四位 国際経営三年 河口 絃太郎

S L 四十位 自治行政三年 吉田 辰徳

G S 出場 自治行政三年 吉田 辰徳

群馬県選手権大会 S L 九位 国際経営三年 河口

絃太郎

G S 十一位 国際経営三年 河口 絃太郎

国民体育大会スキー競技神奈川県予選 G S 三位 国際

経営三年 河口 絃太郎

国民体育大会出場決定

【スノーボード部】

第14回全日本学生スノーボード選手権大会

G S / S L / B X / H P 総合 第六位

Giant Slalom / Slalom 渡部 亮(国際経営四年) 第三位

仙波 俊吾(法律三年) 出場

前田 直紀(経済三年) 出場

服部 正男(国際経営三年) 出場

【体操部】

第56回全日本学生体操競技選手権大会 出場

山田 道彦(応化四年)

夏 在和(経済二年)

【卓球部】

第72回全日本大学対抗卓球選手権大会 決勝トーナメント

進出

第69回全日本学生卓球選手権大会

男子シングルス 新川 達哉(経済四年) 出場

【テコンドー部】

第14回全日本大学テコンドー選手権大会

一部無差別級 尾崎 圭司(国際経営四年) 優勝

長田 康助 (国際経営三年) 準優勝

上田 竜作 (応用生物三年) 第三位

大平 士元 (国際経営一年) 第四位

二部無差別級 斎藤 健 (国際経営一年) 優勝

江川 貴彦 (情報二年) 準優勝

坂本 洸巳 (化学二年) 第三位

二部女性無差別級 菅原 麻衣子 (応用生物三年) 準優勝

井上 めぐみ (法律二年) 第三位

三部軽量級 渡邊 寛治 (国際経営一年) 準優勝

平河内 竜樹 (情報二年) 第三位

土屋 隆広 (情報一年) 第四位

三部中・重量級 田村 理一 (機械一年) 準優勝

舛島 聡 (国際経営一年) 第三位

黒鳥 宏幸 (化学一年) 第四位

【軟式野球部】

第25回全日本学生軟式野球選手権大会 優勝

最高殊勲選手 最優秀投手

決勝戦でノーヒット・ノーラン 駒形 康弘 (経済二年)

敢闘賞 伊藤 誠一 (機械四年)

ゴールデングラブ賞 片元 彰 (経済二年)

【軟式庭球部】

第56回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 出場

【平塚軟式野球部】

第2回日米大学軟式野球国際大会 代表選手として派遣

下川 直 (国際経営三年)

〈コメント〉

第23回東日本大学軟式野球選手権大会出場

第2回日米大学軟式野球国際大会代表選手として派遣 (下川直)

新チーム結成時、上級生が引退したため部員は六人からのスタートでした。部員全員で勧誘をし、なんとか臨めた春季リーグでしたが練習不足の穴は埋められず、内容・結果は散々なものでした。

しかし、この事を教訓に二十名弱にまで増えていた部員達の目標は明確になり、秋季リーグで借りを返し、東日本大会への出場に向けてチームが活気づいていきました。

そしてリーグ戦では、絶対に勝たなくてはいけない試合で一点差で勝ち、五点差をつけて勝たなくてはいけない試合でも土壇場で勝利し、念願の東日本大会への出場も果たすことができました。

我が平塚軟式野球部は、本年度から体育会の一員として承認を頂きました。貴重な経験をする事ができた昨年を糧とし、我が部の節目の年となる今年、最高の成績をおさめたいと思っております。

【男子バレーボール部】

第55回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会

出場

〈コメント〉

我がバレーボール部は、今年も秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会に出場することができました。

夏休みの合宿を経て、秋季関東リーグ、神奈川トーナメントの経験を積み重ね、今回行われた全日本バレーボール大学選手権大会は、一年を締めくくる大会でありました。また、関東の大学ではない他の学連のチームとの試合を経験できたり、観戦をすることができて、いろいろとチームにとって良い刺激を受ける大会でもありました。

日頃の練習によって培った力と技、そして精神力を発揮したこの大会に挑み試合を経験して今後のチームの課題が見えてきたので、さらなる飛躍ができるよう、日々精進していききたいと思います。

今後とも御声援よろしく願います。

【バドミントン部】

第57回国民体育大会秋季大会 成年男子選手として選抜

花本 大地（貿易四年）

〈コメント〉

本年、私たちバドミントン部は第52

回秩父宮・秩父宮妃杯争奪全日本バド

ミントン選手権大会に出場しました。

この大会は本年は愛知県の名古屋市で行なわれました。私たちはこの大会で

少しでも多く勝利するために、大会前それぞれ部員が自分の力を100パーセント発揮できるように練習を積み

重ねてきました。大会当日になり、一回戦は関西地区の龍谷大学。試合が始まり第一シングルス、

貿易学科四年花本大地が激戦の末、敗退。続く第二シングルス、経済学科一年、植竹純平がいい試合をするも敗退。続く

第一ダブルスの経済学科の四年花本大地、二年堂前有希組も敗退。結果、神奈川大学は一回戦敗退で終わってしまいました

た。本年はこのような残念な結果になってしまいました。来年はこの結果のさらに上にいけるように日々、練習を積み重ね、努力し、頑張りますので今後とも御支援よろしく願います。



【ボディビル部】

第37回全日本学生ボディビル選手権

宇野 泰彦(経工三年) 第八位

富永 智史(応化四年) 出場

本間 和弘(機械一年) 出場

〈コメント〉

我がボディビル部は今年も全日本学生ボディビル選手権に出場することができました。

現在のボディビル部員は十五名で活動しています。今年是将来的に期待のできる一年生が入部してきて、大会でも上位に入ることができました。関東大会では五名が決勝に進出し、個人の部は二名が入賞という成績でした。関東学生パワーリフティング選手権では二名が入賞という結果でした。これからも、一生懸命、練習に取り組み大会で良い成績を与えられるように頑張っていきたいと部員一同思っています。

我々は、関東学生ボディビル選手権の団体の部を今回は逃がしてしまつたため、奪回することを部の目標とし、日々のトレーニングに励んでいきたいと思つています。今後も御指導・



御支援のほどよろしく願ひします。

【ヨット部】

第9回全日本ヨット個人選手権大会 出場

内田 諒(国際経営二年)

照井 健一(経済二年)

庄 賢一郎(国際経営三年)

杉田 健介(国際経営四年)

若杉 みどり(貿易三年)

渡辺 啓(国際経営二年)

第67回全日本学生ヨット選手権大会 出場

【陸上競技部】

第13回日本学生陸上競技種目別選手権大会

3000m SC 西 昌広(法律三年) 第二位

第71回日本学生陸上競技対校選手権大会

1500m 山本 卓美(経済四年) 第四位

5000m 吉村 尚悟(経済三年) 第五位

10000m 竜田 美幸(経済二年) 第八位

第14回出雲全日本大学選抜駅伝競走 総合第二位

下里 和義(法律三年) 区間最高記録

第34回全日本大学駅伝対校選手権大会 第十二位

第79回東京箱根間往復大学駅伝競走 総合十一位

【レスリング部】

文部科学大臣杯2002全日本大学レスリンググレコロー
マンスタイル選手権大会

84kg級 増田 和広(国際経営二年) 優勝

第28回内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会

55kg級 鈴木 一美(国際経営二年) 第四位

東日本学生レスリングリーグ 一部昇格

〈コメント〉

我々、レスリング部は今年、創部五十年目にして初の二部リーグ優勝、一部リーグ昇格を果たすことができました。これまでの道のりはとても険しく辛かっただけに一部昇格は大変嬉しいものでした。

二部リーグでの試合は、一戦一戦を闘うたびに選手に自信が付き、一部との入れ替え戦は、部員全員が一つになり、勝つことができました。昇格が決まった時の感動は今も鮮明に覚えています。またあの時の喜びを感じることができればいいと思います。



現在は一部リーグ強豪校との闘いに向けて日々、努力しています。十一月に全日本学生チャンピオンが誕生したこともあり、各自が「自分も!」という気持ちで自覚を持ち取り組んでいるので練習内容は充実しています。これからも上級生が先頭に立って貪欲に練習に打ち込み、来たる一部としてのリーグ戦に備えていきたいと思えます。まだ上位校との差はありますが部員一丸となり高い目標を目指してゆきます。夢は大きく「一部リーグ優勝」です!ぜひ、応援してください。

【アドベンチャークラブ】

第26回全日本リバーベンチャー選手権大会 出場

春・ポリビアウユニ塩湖隊、インド二人旅

夏・慶良間諸島ボート全島巡り、西表島幻の湖を目指して、韓国隊

第6回天竜川WWF大会 総合 準優勝

第9回長良川WWF大会 総合六位

第10回奥多摩山岳耐久レース 完走

〈コメント〉

三十七年前、ESSという英語のサークルに入っていた神大生が英語をもっと実用的に使いたい、せっかく英語が使えるのだから世界を色々みたいという事で行われたそしてこの志が僕達のいまいるアドベンチャークラブのはじまりの

ようです。

アドベンチャークラブは冒険する部活です。これが冒険だと思ったらクラブ内の仲間何人かで春、夏の長期休みを利用して、隊を作り活動を企画します。

代表的な過去の活動としては「タクラマカン砂漠をマウンテンバイクにて縦走」・隊員五人(中国にある世界第2位のタクラマカン砂漠のまんなかを走る砂漠行路をマウンテンバイクを用い縦走する)「インカ計画キヤラバン隊」・隊員三人(チチカカ湖からインカ道をリヤマを連れて天空都市マチュピチュと出会う)

「秘宝探検隊」・隊員三名(瀬戸内海に浮かぶ無人島釜島この島で冒険の王道である、宝探しを執行する)

「マダガスカル徒歩横断」・隊員三人(アフリカ不思議の国マダガスカルを徒歩にて横断)

「ゴビ砂漠モンゴル騎馬縦走隊」・隊員四名(草原の国モンゴルのダルハンという町からロシアの国境、モンゴル北部を馬に乗り往復)

「アラスカダッキー 一人漕ぎ」・隊員一名(二人乗りゴムボート、ダッキーを用いアラスカにある国立公園、大自然の中の小島を巡る) 今年の夏の企画では「西表島 幻の湖をめ



ざして」・隊員七名(沖縄西表島のジャングル奥深くにたたずむ幻の湖を制覇)「慶良間諸島 ラフトボート」・隊員五名(沖縄慶良間の島々をラフトボートという4人乗りのゴムボートにて海を渡りまわる)

「韓国 仁川〜釜山 鉄道線沿いを歩く」・隊員二名(昔日本が韓国に作らせたという鉄道を横目に仁川から釜山までを歩く)

そして最近では僕等のやった冒険をほんの少しでも知ってほしいと思い、十一月二十一日(木)から十一月二十三(土)までの三日間僕等は神大16号館の地下を借り「冒険展」と題し写真、民族品、ビデオ等による展示会を行いました。二百人以上の学生や一般のお客さんの動員があり、おおいに盛り上がりました。また十一月二十三日には報告会といい今年やった活動の報告会もあり、たくさんのOBの方にも来てもらい大変充実したものになったと思います。見に来てくれた皆様どうもありがとうございました。(冒険展に関しては神大ホームページにて掲載してもらえようなので興味のある方は是非みてください。)

それ以外では毎年五月の終わりぐらに行われる、様々な大学の探検部系の学生が主催するリバーベンチャー選手権大会に向けて、そして四月から約二ヶ月間、群馬県の水上にてこの大会のため、ラフトボートやダッキーというゴムボート

を使い激流下りを行います。そしてこのリバーベンチャー選
手権大会により他大学、OBの方々と交流をもてることも出
てきます。しかし、なによりも大きいのが、やっぱり、部全
体として一つのことを目指すという事です。それがある事に
より春や夏におこなわれる長期活動に繋がっていると思いま
す。そして今年で三十七年目を迎えたアドベンチャークラブ、
僕等は活動をする時にこの部に頼っているところがいっぱい
あります。アドベンチャークラブで以前OBの方々がやって
きた冒険活動、先輩からの熱い語り、同期との競争心、後輩
へのハツタリ、それや仲間との馬鹿呑み。とにかくいろいろな
話に刺激され、いろんな世界をみてみると、いろんな事がで
きることに気がつく、そういう意味でうちの部は「なんでも
アリ」だと思います。最後に、いつかは火星まで行くアドベ
ンチャークラブ、先輩、僕らはこれからも冒険します。

【舞踏研究部】

第47回全日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 優
勝

加治屋 貴士（経済四年）

清水 舞（自治行政四年）

〈コメント〉

神大舞踏研究部は東部ブロック全三十八大学の中で、最も

部員数が少ない。先生やコーチもおら
ず、大学には練習場さえ存在しないと
いう劣悪な環境の中、試合で勝ち上が
ることは容易では無い。

一・二年目のジュニア戦時代は目立
つことで勝てるが、三年目になりレギ
ュラー戦に出場し始めると、突然、学
連での自分のポジションを思い知らさ
れることになる。以来、無駄にしてき
た二年間を取り戻すべく、毎日練習場へ通いつめ、全日本チ
ャンプの位置にまで辿り着くことができた。

後輩達には同じ思いをさせないよう、どんな試合であろう
と、努力すれば全ての試合で優勝は可能であり、神大舞研で
も全日本チャンプを輩出できることを、勝ち続ける姿を見せ
ることで証明してきたつもりだ。

これからは神大舞踏研究部が、いつの日か団体で名を残せ
るよう成長することを願っている。

【茶道研究部】

神奈川県戦没慰霊茶会への協力

老人ホームへの定期的訪問などの地域福祉への参加



【神大フェスタ実行委員会】

キャンパス再開発計画完成記念イベント開催

第四回神大フェスタ開催 来場者数：約一万人

参加団体数：約一三〇団体

〈コメント〉

平成十一年の秋に第一回神大フェスタが開催され四年が経ち、今回で第四回となりました。これまで、多くの部・サークルやゼミ・研究室の方々に御参加いただき誠にありがとうございます。

話しは変わりますが、みなさんは学園祭とはどういふものだと思いますか？ 私はこの答えをはっきりとは見つけていません。実際、神大には学園祭はありません。わがらなくて当然だと思います。神大フェスタを学園祭と呼んでくれる人々もいます。本当にうれしいことです。でも、学園祭ではありません。

これからです。表面上だけの学園祭ではない、来てくれた方々が心から「これが大学の学園祭。」と思えるお祭であり、最高学府における、神大だけの学園祭を創るべく、活動していきます。神大を見ていってください。



【吹奏楽部】

第50回全日本吹奏楽コンクール 大学の部 金賞

〈コメント〉

私達神奈川大学吹奏楽部は、平成十四年度第50回全日本吹奏楽コンクールに出場し、昨年度に引きつづき「金賞」を受賞することができました。このコンクールは、三年連続で全国大会に出場すると、規約により次の年のコンクールには出場することができません。

三年連続出場を果たすことは吹奏楽部にとって名譽なことであり、来年度のコンクールでも全国大会に出場することができれば、三年連続出場を果たすことができます。

また今年の七月にはスウェーデンで開催される第11回世界吹奏楽大会（WASBE）に日本代表として出場させていただくことが決定しました。

来年度は、世界吹奏楽大会（WASBE）や全日本吹奏楽コンクールなど多忙な一年になると思いますが、部員が一つになって練習に励み、来年度も皆様に良い結果を報告することが出来るように頑張りたいと思いますので、応援よろしくお願いします。



【ロスガトス】

宮陵会平塚支部定期総会 出演
双鶴会同窓会東京支部総会 出演

【会計学研究部】

春季全国大学対抗簿記大会
団体戦 二級の部 第四位

〈コメント〉

今年の春季簿記大会では、一年間部を引っ張ってきた部長と税理士に挑戦している三年生、そして高校から簿記を勉強してきた一年生二人それぞれの力で団体戦二級の部全国四位入賞、また秋には団体戦一級にチャレンジすることができました。また今年はそのOBが在学中からの努力が実り税理士二科目に合格するなど部として大きな成果が出せた一年になりました。

この簿記大会終了後、三年生はそれぞれの道に進んでいきます。自分の進むべき道を見つけて就職活動をする者。また税理士に挑戦するため日々努力を重ねる者。このような先輩たちを見ると、自分達も先輩たちに負けずに一生懸命何かに



【航空工学研究部】

第26回鳥人間コンテスト選手権大会 人力ヘリコプター部
門 出場

〈コメント〉

一昨年は初出場ということで、わからない事だらけでしたが、昨年は鳥人間コンテスト二回目の出場となり、一昨年の反省を活かすことができました。駆動系と機体を改良し、更には様々な方のご協力によりカーボンパイプを取り入れました。大会では一昨年は棄権という残念な結果に終わりましたが、昨年は一秒二十一という記録を残すことができました。ここまでの過程には何度も実験を繰り返す、計算をやり直す等といったような努力があり大変でした。今年は部員も少なく、資金も少なく個人の負担が大きくなりますが、全員で一丸となって大会で昨年以上の結果を残したいと思います。



二年間の経験と反省を活かし、更なる飛躍を目指していきたいと思います。

【内燃機関研究部】

第22回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技全国大会 出場

10011 CAMPUS OFFROAD MOTORCYCLE MEET-

ING R-4 出場

〈指定強化部〉

【女子バスケットボール部】

〈コメント〉

私たち女子バスケットボール部は昨年度から新しくコーチを迎えることになり、インカレ出場・二部上位を目標として日々の練習に取り組んできました。しかし結果はインカレ出場果たせず、二年連続で入替戦に出場し二部残留を決める散々なものでした。

新しいコーチを迎えた夏、私達は朝・昼の二度練を何度も繰り返ししました。目標を達成するために、どんなに辛くて厳しい練習でも



仲間同士、声をかけ合いながら乗り越えてきました。大学入学後、それまで感じた事のないくらいに、練習の楽しさ、仲間の大切さを実感しました。

結果としては、目標達成はできなかったけれど、昨年学んだことや、今年新たに学ぶ事を発揮して、昨年できなかった目標を必ず達成したいです。